

2011.3.1



医療教育開発センター ニューズレター

徳島大学大学院
ヘルスバイオサイエンス研究部
医療教育開発センター

1 巻頭言

2 取組紹介

- 特集Ⅰ
スキルス・ラボ～新しい利用のかたち
- スキルス・ラボ利用実績報告
- 特集Ⅱ
文部科学省
組織的な大学院教育改革推進プログラム
(大学院GP)
「医療系クラスターによる組織的大学院教育」
- 2010 Tokushima Bioscience Retreat報告

3 平成22年度活動報告

1 巻頭言



“新しい医療人教育のかたち”

医療教育開発センター長 赤池 雅史

平成16年度に蔵本地区の生命科学系大学院を統合してヘルスバイオサイエンス研究部が設立されたのと同時に、教育・研究の分野横断的支援組織として医療教育開発センターが開設され、丸7年が経過しています。私は平成21年4月より3代目のセンター長を務めておりますが、この度、昨年12月1日付で、新しく開設された医療教育学分野教授を

拝命し、専任として医療教育に取り組むことになりました。

医療教育開発センターは、世界に通じる生命科学研究者と診療現場で指導的役割を果たす高度医療人の育成を目指し、教育クラスターを始めとする領域横断的大学院教育、職種間連携教育、シミュレーション教育を三本柱として、医療人教育に取り組んでいます。大学院教育については、文部科学省・組織的な大学院教育改革推進プログラム「医療系クラスターによる組織的大学院教育」によって、クラスター大学院生の選抜、研究の最先端を紹介するクラスターコアセミナーの開講、各クラスターによるミニリトリートの実施等、組織・領域を超えた研究交流が活発に行われるようになりました。本プログラムは次年度で最終となるため、今後はクラスター大学院の定着や、同じく最終年度を迎える「がんプロフェッショナル養成コンソーシアム」を母体とした「がんクラスター」の形成に取り組む必要があります。職種間連携教育については、今年度は医療安全をテーマとして、蔵本地区の1年生の約90%が参加し、チーム医療入門ワークショップを開催しました。このような学部学科を横断した医療系共通教育を多学年積み上げ式で構築すること、さらに臨床実習での職種間連携を実現することが今後の課題であると考えています。シミュレーション教育については、基本的診療技術用を中心として豊富なシミュレーターが揃い、スキルスラボの利用は開設当初の約7倍に達しています。また、歯学部と合同で学長裁量パイロット事業経費をいただき、医療事故の主な原因であるノンテクニカルスキルの習得を目的として、ビデオフィードバック手法を駆使したシミュレーション教育プログラムの開発にも取り組んでいます。今後は、卒前卒後一貫した生涯研修を見据えて、バーチャルリアリティシミュレーターや動物を扱うウェットラボの整備等、高度医療技術トレーニングへの対応が課題と考えています。また、模擬患者については、医学科、歯学科のみならず、薬学部や保健学科における実習・技能試験でもニーズがあり、今年度より新人養成プログラムを作成して、新たな人材養成を開始しました。このようなスキルスラボや模擬患者を活用した教育を円滑に進めるには、コーディネーター役を務める専任者が不可欠であり、その人材とポストの安定的確保を目指したいと考えております。

医療教育開発センターでは、時間、組織、職種を横断した新しい医療人教育のかたちを基盤として人材育成に努める所存です。皆様のご指導・ご鞭撻を何卒よろしくお願い申し上げます。

2 取組紹介

特集 I

■ スキルス・ラボ～新しい利用のかたち

● **医師・歯科医師・研修医対象のハンズオンセミナー**
 医師・歯科医師や研修医に対するセミナーは、昨年より多く開催され、ウェットラボによる利用も少しづつ増えてきました。



1月12日 脳外科L-P
シャントハンズオンセミナー



1月19日 歯学科5年臨床実習

● **研修医CV個別講習会**

中心静脈穿刺&カテーテル留置の適切な手技習得のための個別講習会は、1か月に2回の開催がほぼ定着し、開催数は23回、受講者はのべ40名となりました。



9月30日 整形外科皮膚縫



泌尿器科 ハンズオンセミナー

● **第2回Simulation医療教育Workshop in徳島**
 今年も、11月6日に慶應大学の安井清孝先生を講師にお招きし、シミュレーション教育による指導法を学びました。



● **シミュレーション教育**
 秋に開催したSimulation医療教育Workshopの学びを活かし、看護部や病棟の看護師が急変対応のシナリオをもとにしたシミュレーションを行いました。



1月24日 看護部高機能
シミュレーターを使用した急変時の対応



11月14日 W-4看護師急変研修

● **徳島市立高校医学体験研修**
 高大連携授業の一環で、1月6日に徳島市立高校理数科1,2年生64名に対して、医学体験研修を行いました。



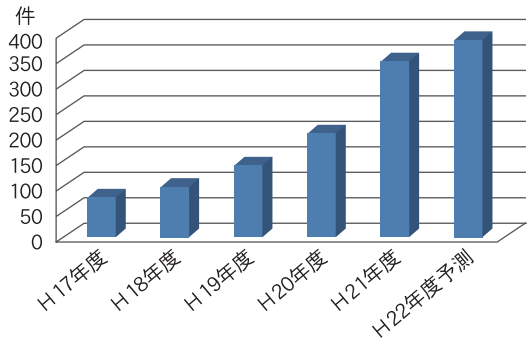
縫合練習



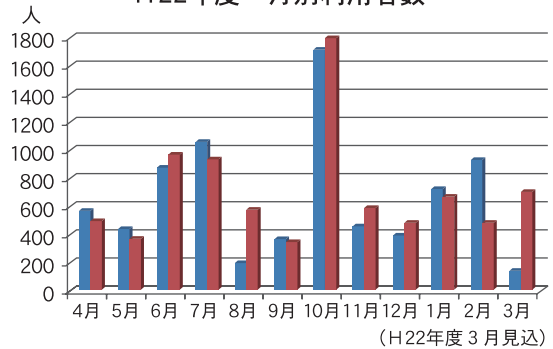
救急蘇生

■ スキルス・ラボ利用実績報告

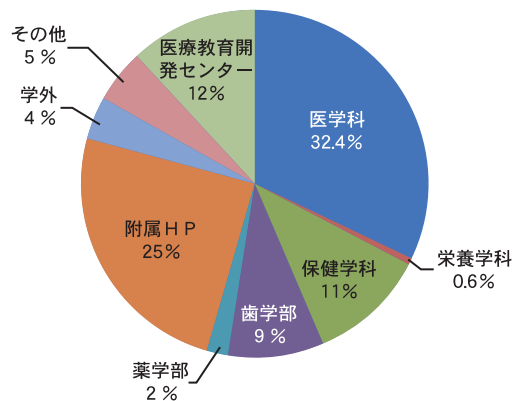
年間利用件数の推移



H22年度 月別利用者数



H22年度 利用件数内訳 (延べ8333名)



特集Ⅱ

■文部科学省 組織的な大学院教育改革推進プログラム（大学院GP） 「医療系クラスターによる組織的大学院教育」

昨年度に引き続き、文部科学省・組織的な大学院教育改革推進プログラム「医療系クラスターによる組織的大学院教育」の取り組みを支援しています。今年度はクラスター毎に年間15回以上のコアセミナー（教育クラスターを構成する先生方それぞれのご研究の最先端講義）が開催され、また昨年同様に、本事業および学長裁量経費補助により、クラスター毎のミニリトリートが開催されました。従来の組織を超えて開催されるコアセミナーや日常から切り離されたリゾート空間において、少人数で深く交流することにより、指導教員・若手研究者・大学院生の研究交流の促進が期待されます。また、3月11日にクラスター大学院生研究発表会（医学部第一会議室）、3月31日には平成22年度大学院GP報告会（医学部第3、4会議室）を開催します。

●クラスターコアセミナー



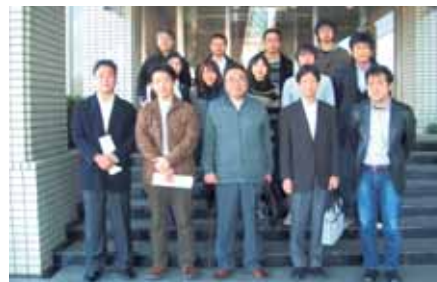
●各クラスターによるミニリトリート



「ストレスと栄養」(1/8-9 参加23名)



「心・血管」(1/7-8 参加28名)



「肥満・糖尿病」(1/21-22 参加15名)



「感染・免疫」(1/22-23 参加33名)



「脳科学」(1/29-30 参加25名)



「骨とCa」(2/4-5 参加47名)

■2010 Tokushima Bioscience Retreat 報告



と き：平成22年9月16日（木）～18日（土）
 ところ：香川県 リゾートホテルオリビアン小豆島
 参加者：4教育部より37名
 内 容：研究発表会、特別講演、懇親会

本年も学長裁量経費の支援を得て、第6回目となる大学院リトリートが開催されました。研究発表会では、大学院生が日ごろの研究テーマについて堂々とした発表を行い、自由な雰囲気の中で活発な討論が行われました。懇親会では分野の異なる院生や教員が語り合い、貴重な交流の場となりました。

特別講演としては、京都大学大学院薬学研究科の岡村均先生をお招きし、大変刺激的かつ貴重なお話を伺うことができました。

今年も研究部長裁量経費により若手研究者奨励賞を設け、3名の院生が受賞しました。受賞者には、副賞として海外での学会旅費の一部が補助されることになっています。また、学生の投票により、特別賞1名が選ばれました。

●若手研究者奨励賞

黒川 憲さん（医・ストレス制御医学 博士課程2年）
 倉本 卓哉さん（医・腫瘍内科学 博士課程2年）
 香西 美奈さん（栄・臨床栄養学 博士後期課程1年）

●特別賞

小川 真太郎さん（栄・臨床栄養学 博士前期課程2年）



若手研究者奨励賞 表彰式
 平成22年10月28日 研究部長室にて

■第4回「チーム医療入門」蔵本地区1年生WS

日時：平成22年9月30日 13:00-17:00

医療人を目指す学生が相互理解を深め、将来ともに円滑なチーム医療を行える基盤形成を目的としています。今年度は「医療の質と安全を向上させる為に私達が学ぶべきこと」をテーマとし、KJ法を用いてワークショップを行いました。蔵本キャンパス医学部、歯学部、薬学部1年次学生373名（全体の88%）が参加し、自分自身が将来目指す職種だけでなく、互いの職種の理解を深めました。



■徳島大学模擬患者の会 活動報告

「医療面接技能の向上」や「模擬患者の増員」を目指し活動しています。平成22年度は8名（男2名、女6名）が活動しており、5名の入会希望者が新人養成プログラムに取り組んでいます。

歯学部「医療面接講義」や医学部医学科「4年次基本的臨床技能実習」「OSCE」等の協力に加え、今年度は新たに保健学科放射線技術科学専攻の臨床技能試験に協力予定です。



3 平成22年度活動報告 - H22年4月～H23年3月 - ●●●

■大学院教育支援

【大学院GP】 クラスタークォアセミナー(4～3月) HBS 5 研究部月例交流セミナー(第10～18回) ロチェスター大学教員招聘(5月) インディアナ大学教員招聘(11月) クラスターク・ミニトリート(1～2月) 平成22年度大学教育改革プログラム合同フォーラムポスター発表(1月) 第3回若手研究発表会(2月) スタンフォード大学教員招聘(3月) クラスターク大学院生研究発表会(3月11日) 平成22年度大学院GP報告会(3月31日)

【e-learning運営】

e-learning対象科目の講義撮影・コンテンツ作成(前期・後期) 2010サマープログラム HBSコース講義撮影・コンテンツ作成(7月)

【リトリート】 2010 Tokushima Bioscience Retreat(9月16～18日)

【英語特別コース】 統合医療学際教育英語プログラム/国際環境・予防医学英語特別コース運営委員会(4回)

【共通科目】 教育部共通カリキュラム科目授業時間割編成会議(1回)

【授業評価システム】 授業評価アンケート実施支援(前期・後期) 授業評価システム検討WG(2回)

■職種間連携教育(IPE)

【学生教育】 第4回「チーム医療入門」蔵本地区1年生WS(9月30日) 第242回徳島医学会学術集会ポスター発表(2月)

【会議】 IPE推進WG(6月)

■シミュレーション教育

【スキルス・ラボ】 第8～23回CV個別講習会(4月～2月) 第2～17回きりん(基本的臨床技能セミナー)

徳島県立中央病院看護部実務研修(4月) 平成22年度研修医教育講座第1～2回腰椎穿刺講習会(卒後臨床研修センター主催)

医学科OSCEのためのオープンスキルス・ラボ(6年生:6月 4年生:2月)

高校生医学体験スキルス・ラボ研修(8月:徳島文理高校32名 徳島県高校生89名 1月:徳島市立高校64名)

外科模擬手術体験～徳島キッズセミナー共催(10月) 第2回Simulation医療教育WS in徳島(11月)

シミュレーターを用いた医療技術トレーニング～高度医療人GP共催(11月) イチロー&ラングセミナー(4年生:2月 6回)

【模擬患者(SP)養成】 活動(86件) のべ384人)

内訳:医学部(54件) 歯学部(10件) 保健学科・放射線技術科学専攻(5件) 定例会(レクチャー)(5件)

新人養成プログラム(6件) 研修会派遣(2件)

【会議】 スキルス・ラボ運営WG(2回)

■視察等受入 岡山大学医療教育統合センター(4月) 藤田保健衛生大学(7月) 東北大学卒後研修センター(7月)

徳島県保健福祉部医療健康総局(10月) 国立大学附置研究所・センター長会議第2部(10月)

徳島県立脇町高校(12月) 三重大学医学部附属病院卒後臨床研修部(1月)

■会議 当センター運営委員会/教務部会(6回)

医療教育開発センターニュースレター Vol.7 2011. 3. 1

編集・発行 徳島大学大学院HBS研究部医療教育開発センター
〒770-8503 徳島市蔵本町3丁目18番地の15

TEL : 088-633-9104 / FAX : 088-633-9105
<http://healthbio.basic.med.tokushima-u.ac.jp/jp/medc.html>